



ひばり

若松小学校・府中第二小学校
特別支援教室「ひばり」教室便り

令和4年5月9日 No.2
府中市立若松小学校
拠点校校長 小林 カ

新緑がきれいな季節になりました。あっという間に大型連休も終わり、学校生活が再開しました。新学期が始まって約1ヶ月が経ち、新しい環境にも慣れていくと同時に、少しずつ疲れが出てくるようです。連休で崩れた生活リズムを取り戻しながら、週末はゆっくりと体を休ませて、体調を整えていきましょう。

また、先月の保護者会には、年度初めのご多用な中、ご参加いただきありがとうございました。書類の提出や連絡帳ファイルなどのご準備、連絡帳への記載等、ご協力いただき感謝いたします。



○5月の学習内容

低・中学年グループ		高学年グループ	
小集団学習	<ul style="list-style-type: none"> ☑ ルールの順守 ☑ 感覚を表す言葉 <ul style="list-style-type: none"> ↳ 触覚、聴覚、視覚 ☑ マナー 	小集団学習	<ul style="list-style-type: none"> ☑ スピーチと質問 ☑ ウォームアップ ☑ 自分のめあて ☑ 共通点探し ☑ 自分の気持ち
個別学習	個に応じた課題	個別学習	個に応じた課題

○今後の予定

< 若小・二小 > 5月30日(月) 振替休業日 ※ひばりの指導はありません。



ひばり教室より



「ひばりのめあて」とは？

ひばりでの学習のキーワードです。「すなお」「まあ、いいか」「きょうりよく」の3つがあります。子供たちには、この3つができると安心して楽しく生活ができると話しています。高学年については、3つのめあてと共に、自分でひばりのめあてを決めて取り組んでいきます。

ひばりに通う子供には、認知のアンバランスさから、自分のやり方に固執し、新しい取り組みへの不安から行動をためらいやすい子もいます。「すなお」に聞いたらうまくいった」「まあ、いいか」で切り替えができた」「人ときょうりよくして心地よかった」等の体験をさせることで、気持ちや行動を切り替えることができるように指導していきます。在籍学級やご家庭でも具体的な場面の中で、活用していただけたらと思っています。

1学期は、3つのめあてのうちの「すなお」に重点をおいて指導を行います。「すなお」に謝る」「言われたことにすなおに取り組む」「アドバイスをすなおに受け入れる」など、学習の中で子供たちの「すなお」を見つけて、即座に伝えていきます。「すなお」がどういうことかを子供たち自身が実感し、「すなお」ができるとうまくいく、という体験を積み重ねられるように指導していきます。

「ひばりの約束」とは？

ひばりで安心して過ごすためのルールを話しています。「分からないことがあったら先生に聞く」、「先生に伝えてから行動する」、「先生や友達の話最後まで聞く」。この3つを守りながら学習に参加できるように、指導していきます。



在籍学級の先生方へ

ひばりの指導と練習等が重なるときについて

5/9（月）から始まる運動会練習とひばりの指導が重なるときは、子供の実態（練習に参加しないと不安になってしまう、集団で同じ動きをするのが苦手など）から、その時間の練習が必要か否かを考えた上で、保護者の方に連絡を入れ、相談をしてください。

ひばりに出席するか練習等に出席するか、または各1時間ずつにするかなど、決定したことをひばり専門員または教員と、児童本人に必ず伝えてください。よろしくお願いします。

（※例）「○時間目は練習に参加して、○時間目はひばりへ行きます。」

お願い

- コロナ対策として、今後も消毒や換気などを引き続き行います。天候によっては、換気していることで寒さを感じる場合があります。着脱できる服装にするなどご配慮いただくと助かります。また、毎回の指導で手洗いをしていますので、必ずハンカチを持たせてください。ご理解のほどをよろしくお願いします。
- 「特別支援教室届け」と「児童理解のための資料（生育歴）」の提出、ありがとうございます。まだのご家庭は提出をお願いします。
- ひばり担任は2校で巡回指導を行っています。連絡したいことがありましたらひばり教室専用携帯（090-8344-7685）までご連絡ください。指導中等で繋がらない場合は、第二小・若松小の代表番号までお願いします。



～4月の児童の様子～

今年度は、プレ指導として1時間だけの個別指導よりスタートいたしました。新しい仲間や先生との出会いでしたが、どの子も楽しく個別学習に参加できたようです。またグループ指導の中で、仲良くなる活動として「自己紹介」や「サイコロトーク」などを行いました。不安や緊張で硬かった表情もほぐれて、自分らしさを見せ始めています。まずは、いろいろな自分に気付くことから始めて、関わり合いの中で少しずつ友達への関心もてるように指導をしていきます。子供たちがどのように成長していくかが楽しみです。

